

初代アマ本因坊・平田博則氏を顕彰して

平田博則氏について

平田博則氏(1926-2024)は日本を代表するアマチュア囲碁の強豪であり、数学者・教育者としても長年にわたり活躍された人物です。囲碁と学術の両面で優れた成果を残し、特にアマチュア囲碁界においては長期にわたり第一線で活躍し、その発展に大きく寄与されました。また、知性と競技力を兼ね備えた存在として高く評価され、後進に大きな影響を与えました。



主な大会実績

●全日本アマチュア本因坊戦

1955年 第1回大会優勝(初代アマチュア本因坊)

1986年・1988年・1993年優勝

通算4回優勝。名誉アマチュア本因坊。

●朝日アマ囲碁十傑戦

1960年代から1990年代にかけ活躍。通算5回優勝。

●世界アマチュア囲碁選手権戦

日本代表として通算8回出場。

1995年優勝(69歳で史上最年長優勝)

その他の活動と評価

- ・アマ囲碁界「アマ四強」の一人
- ・囲碁普及功劳(2002年・大倉喜七郎賞)
- ・昭和薬科大学名誉教授として教育分野にも貢献

略歴

1926年	福岡県に生まれる
幼少期	上京し囲碁を始める
1941年頃	日本棋院院生となる
1942年	初段認定を受ける
戦後	東京文理科大学数学科に進学
1952年	同大学卒業、成蹊高等学校勤務
1955年	第1回全日本アマ本因坊戦優勝
1967年	昭和薬科大学勤務(後に教授)
1970年代	アマ囲碁界の第一人者として活躍
1986年	第31回全日本アマ本因坊戦優勝
1988年	第33回全日本アマ本因坊戦優勝
1993年	第38回全日本アマ本因坊戦優勝
1995年	世界アマチュア囲碁選手権戦優勝
1996年	昭和薬科大学名誉教授
2002年	囲碁普及功劳表彰(大倉喜七郎賞)
2010年	名誉アマチュア本因坊称号授与
2011年	84歳で世界アマ選手権戦日本代表となる
2024年	2月11日逝去(享年97)

平田博則と全日本アマチュア本因坊戦

平田氏は全日本アマチュア本因坊戦の歴史においても大きな足跡を残しました。1955年に開催された第1回大会において初代優勝者となり、その後も安定した実力を維持し続け、通算4回の優勝という輝かしい成績を収め、これにより、同大会の最高栄誉の一つである「名誉アマチュア本因坊」の称号が授与されています。

それらの功績を後世に伝え、囲碁文化の継承と発展を支援するため、ご親族により「平田博則メモリアル基金」が設立されています。この基金は本大会への協賛を通じてアマチュア囲碁界の振興および次世代育成を支援するものであり、平田氏が生涯をかけて築いた足跡を未来へと受け継ぐ役割を担っています。